

瀬戸市立瀬戸特別支援学校光陵校舎で防災講座を行いました

令和7年12月11日（木）、瀬戸市立瀬戸特別支援学校光陵校舎で高等部1年生4名に水害と地震の防災講座を行いました。この学年は、授業で防災について学んでおり、実際にハザードマップで自宅の災害危険度を確認したそうです。

水害の講座では、新技術を活用してVRによる浸水疑似体験やAI語り部との対話体験を行いました。また、瀬戸市でも被害のあった伊勢湾台風や昭和32年8月豪雨、線状降水帯が発生した東海豪雨、学校周辺が丘陵地であることから同様の地形で鉄砲水が発生した昭和58年の9.28豪雨災害について学習しました。

地震の講座では、濃尾地震や能登半島地震など過去に発生した地震、地震のメカニズム、周期と建物の揺れの関係などについて、映像・模型を活用しながら学習しました。また、液状化現象は皆さん知っており、本講座では街の模型・ペットボトルの実験を通して理解を深めました。

講座の最後には、「新たに知ったことがたくさんあり、VR体験も印象に残りました。帰ったら家族と話し合って事前に備えたいです。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は中日新聞に取材頂きました。

水害



地震

